令和２年度
主な取組

地域資源から魅力資源へ
ものづくりの伝統を守り、受け継がれるために
空き家の利活用による新たな魅力づくり

生野区シティプロモーション
「生野の魅力」の発掘・浸透
区民のわがまち意識を育てる

まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進
地域実情に応じたきめ細やかな支援
区の状況に応じた支援の実施

まち未来

（１－１）ものづくりの伝統を守り、受け継がれるための支援

区予算算定見込額　225千円

◆現状・課題

●少子高齢化、若者のものづくり離れにより、**担い手が不足し、技術の継承が困難**な状況

●地域活性化の観点からも、**住民のものづくり企業への理解度を促進する**ことが必要。

事業所数データ（経済センサス基礎調査）
4,245社（H11）→1,562社（H28）

◆具体的な取組

●**次世代育成を目的としたイベント**
（１回以上開催）

●**区内企業への見学会など**
（随時開催）

●**「ものづくり百景」を活用したPR**
（随時）

1／2

まち未来

（１－１）ものづくりの伝統を守り、受け継がれるための支援

◎業績目標

- **次世代育成を目的とした**
  イベントなどへの参加数
  ：100人以上

- **区役所ホームページの**
  ものづくりページのビュー数
  ：2,400件／年

ものづくり百景イメージ

ものづくり教室のイメージ

ワークショップのイメージ

２／２

まち未来

（１－２）空き家の利活用による新たな魅力づくり

区予算算定見込額　436千円

◆現状・課題

空き家の増加は、コミュニティの衰退やまちの魅力の低下など、地域の課題に。一方、長屋については住みたい方も多く人気があるが、**不動産市場には出てこない。**

・空き家率　１９．８％（**５位**/24区）
・その他の住宅※　５，８７０戸（**１位**/24区）※不動産市場に流通しない空き家
・住宅に占める長屋建率　１１．６％（**１位**/24区）
・住宅に占める木造長屋建率　１１．２％（**１位**/24区）
【平成30年住宅土地統計調査　積算】

地域と連携し、まちづくりの一環として空き家等を活用した地域活性化へ取り組む

◆具体的な取組

- **セミナー**（随時開催）
- **地域が主体となった空き家対策会議**（４回開催）
- **空き家の活用事例の紹介**（随時）
- **空き家物件情報の提供**（随時）

１／２

まち未来

（１－２）空き家の利活用による新たな魅力づくり

まち未来

◎業績目標

空き家利活用に関する取り組みが進んでいると感じる区民の割合

：33%以上＊

セミナーの開催

空き家の活用事例の紹介

2／2

（２－１）「生野の魅力」の発掘・浸透

区予算算定見込額　24,643千円

◆現状・課題

　生野区に住んでいる方が感じている区の魅力や、子育て層が移り住みたいと思う情報、若者が訪れたくなるような情報を積極的に発信し、**生野区の魅力を発掘・浸透させていく必要**がある。

　生野区のまちを持続可能で発展するまちとするため、区内の魅力の発掘・発信や資源（ヒト・モノ・カネ）の循環の活性化、**特に、若年・子育て層への効果的な情報発信**に取り組む。

1／3

まち未来

（２－１）「生野の魅力」の発掘・浸透

◆具体的な取組

- **広報紙の多言語翻訳版をアプリ配信**
- **広報紙の特集・連載記事の作成**：毎号
- ブログ・ツイッターなど**各種広報ツールを活用**し、**まちに魅力を感じるような情報を発信**（随時）

- 各種施策・イベント等の**プレスリリース、メディアへの情報提供**（随時）
- 生野区まち情報サイト**「いくのぐらし.com」との連携**を行う（通年）
- **官民連携した体制の推進**（次ページ）

◎業績目標

- **公式ブログのビュー数の年間目標：18,000件**
- **提供した情報がメディアで取り上げられた回数**
  ：12件以上（毎月1件を目標）

2／3

まち未来

（２－１）「生野の魅力」の発掘・浸透

生野シティプロモーション推進体制

【生野区役所】 シティプロモーションの方向性と取り組む事業を連携し、
区独自の情報発信、統一イメージの創出及び官民連携を推進する

企画総務課	地域まちづくり課	各課
・広報紙の企画、作成、配布 ・区のＨＰ、ＳＮＳ発信 ・企業や各種団体との連携 ・区民アンケート ・キャラクターやロゴの活用	・「いくのの日」の推進 ・企業や各種団体との連携 ・イベントの企画、運営 ・地域のトピックス収集 ・「ものづくり百景」	それぞれの事業やイベントの企画・運営や周知を広報担当と連携しながら効果的に行う

【関係団体】

子ども・子育てプラザ	生野まちづくりセンター	
・子育て情報の収集、発信 ・地域子育てサロンの活性化 ・子育てイベント企画	・地域情報の収集、発信 ・地域の広報力向上支援 ・まち情報の収集、提供	・IKUNO多文化ふらっと ・クロスベイス ・いくのもり※ 等 ※官民連携組織から生まれた団体

【官民連携組織】

生野産業会 ／ 各種団体 ／ 各企業・店舗 ／ クリエイター デザイナー等 ⇔（連携）区役所

官民連携で、まち情報の発信や魅力スポット・商品開発などを行う組織

3／3

まち未来

（２－２）区民のわがまち意識を育てる

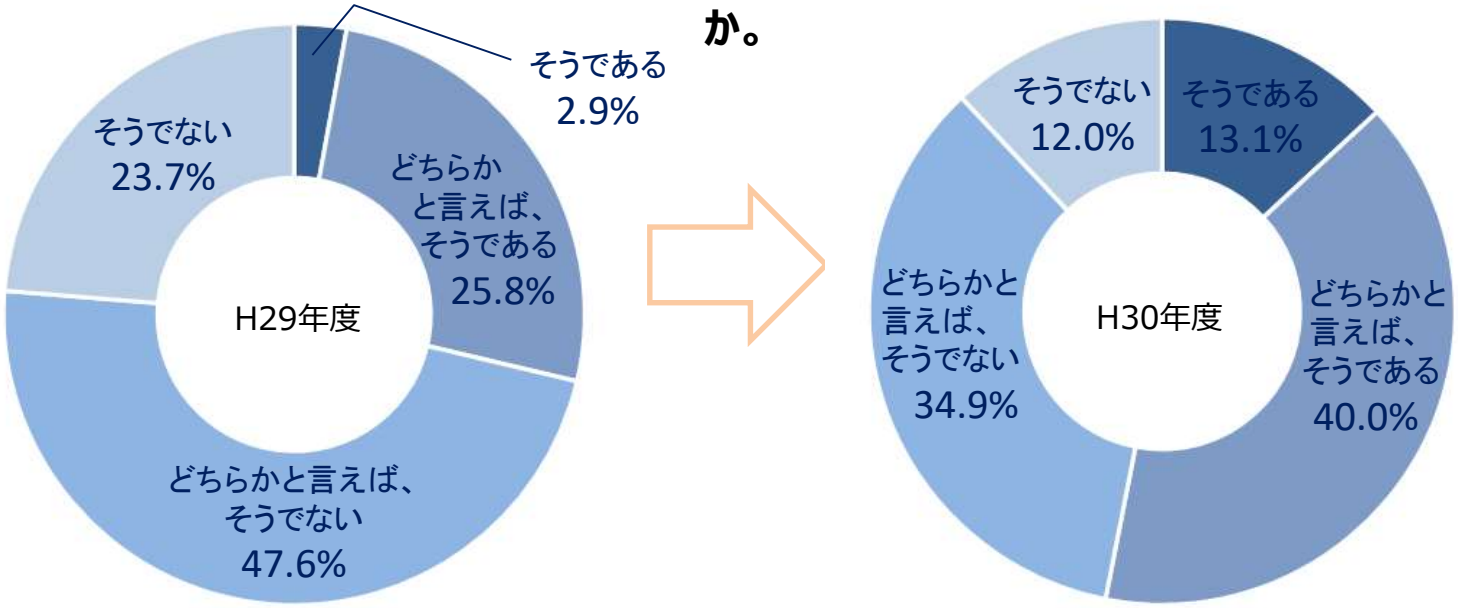
区予算算定見込額　24,643千円

◆現状・課題

区民の生野区への誇りや愛着は深まりつつあるが、「わがまち意識」をさらに浸透させるためには、これまでの取組に加え、**新たなにぎわいづくりを創出していく**必要がある。

【区政に関する区民アンケート】

生野区は、様々な人々が訪れ、**住みたいと感じられるような魅力あるまちだと感じますか。**



1／2

まち未来

（２－２）区民のわがまち意識を育てる

◆具体的な取組

　生野区を盛り上げるためのさまざまな取り組みを自主的に行っている区民や団体等の活動紹介・応援（PR協力）等（通年）

生野区プレイスメイキング事業イメージ

◎業績目標

　生野区を盛り上げるさまざまな取り組みが各地域で行われていることを知っている区民の割合：６０％以上＊

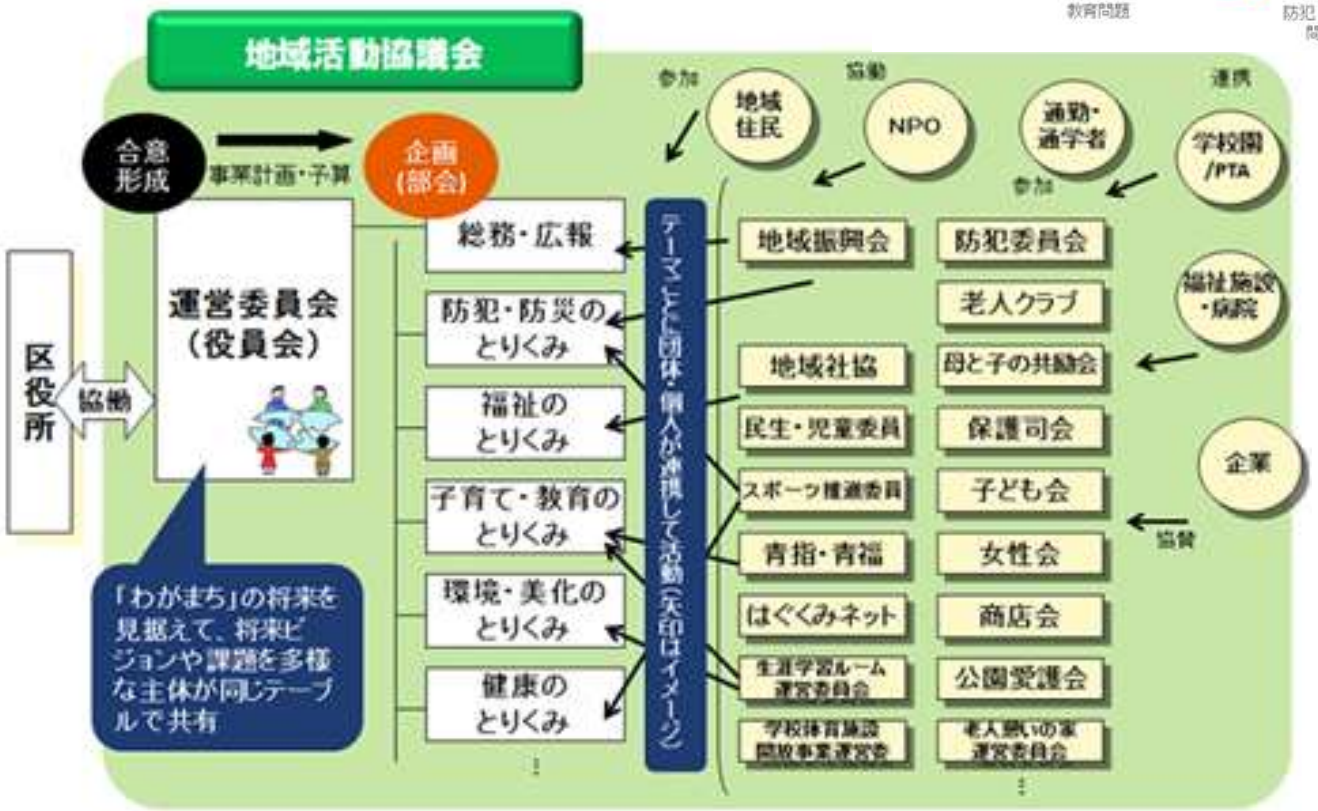
２／２

まち未来

（３）まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進

地域活動協議会（まち協）とは・・・

みんなで話し合い、
協力しながらまちづくりを推進！



1／5

まち未来

（３）まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進

区予算算定見込額　52,168千円

◆現状・課題

●取組数と自律度の推移
まち協による自律的な地域運営に向けて、まちづくりセンターが有する専門的なスキル・ノウハウを活用しながら支援を行ってきたことで、取組の増加や自律度の向上は見られるものの、地域住民の参加が少ない地域や、地域特性に応じた取組が進んでいない地域があり、また、取組や自律度の進展は逓減傾向にある。

●まち協の意義や求められる機能の理解
まち協の意義や地活協に求められる準行政的機能や総意形成機能について、まち協構成団体の理解が促進されているものの、理解度はそれぞれ84.9%、68.2%にとどまっている。

まち協構成団体の理解度

	平成29年	平成30年	備　考
準行政的機能	55.4%	84.9%	29.5%の増加
総意形成機能	55.8%	68.2%	12.4%の増加

2／5

まち未来

（３）まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進

◆具体的な取組

- まちづくりセンターと協力し、**地域実情に応じた支援を行うため、**まち協のあり方や、**地域内での課題などについて話し合いを進める会議を開催**する。
- まち協の理事会や会計説明会を通じて、**より民主的に開かれた組織運営と会計の透明性の確保の重要性を浸透させる。**

（会議風景）

（各種事業）

3／5

まち未来

（３）まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進

- 幅広い世代の住民が地域活動について興味を持ち、地域活動の新たな担い手へとつながるよう、ＳＮＳ等を通じて、各まち協の特色ある活動を発信する。
  さらに、誰もが気軽に参加ができ、交流できる場を提供し、多様な人を巻き込み、新たな地域活動の担い手を発掘する。

新たな担い手の育成に向けた交流会（まちカフェ）の様子

4／5

まち未来

（３）まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進

◎業績目標

●地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に対し
地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると思う割合
：確定次第掲載

●まちづくりセンターの支援を受けた団体が、
支援に満足している割合：確定次第掲載

５／５

まち未来

まち未来